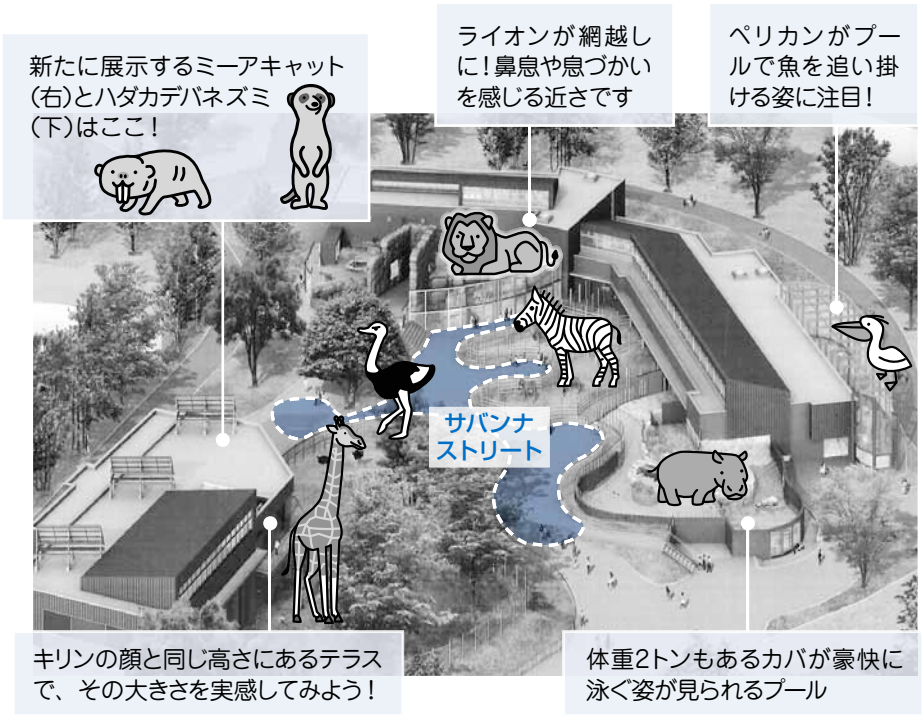
この秋、新たに2つの施設が誕生！

今年秋ごろ、サバンナに生息する動物を中心に展示する新施設アフリカゾーンと、新サル山が完成します。いずれも動物たちが生き生きと暮らす姿が間近で見られる施設です。

アフリカゾーン

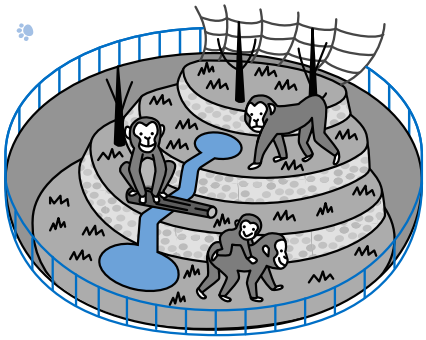
数多くの動物が暮らすサバンナの姿や、野生動物に迫る危機などを広く知ってもらうための施設。ライオンやキリン、シマウマなどのほか、新たにミーアキャットとハダカデバネズミを迎え、11種類の動物を展示します。

中央にあるサバンナストリートに立つと、周りを動物たちに囲まれたような気持ちになるよ！



新サル山

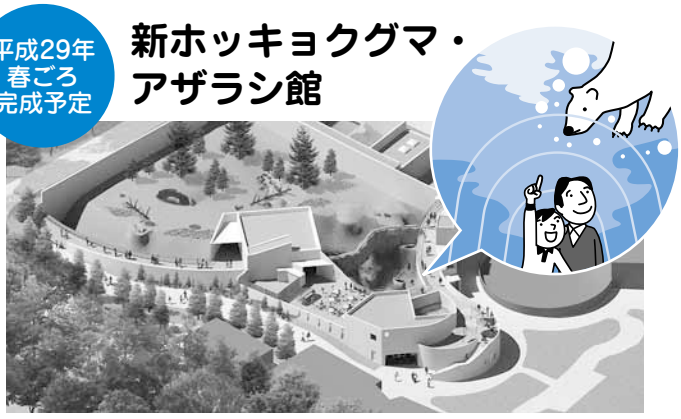
これまで岩肌だった「サル山」が緑いっぱいになります。サルがよじ登って遊べるネットを設けるなど、好奇心をかき立てる仕掛けがたくさん。70頭以上のニホンザルが生き生きと動く様子を観察できます。



木を植えたり、川を作ったりして、より野生に近いサルたちの動きが見られるようになるよ

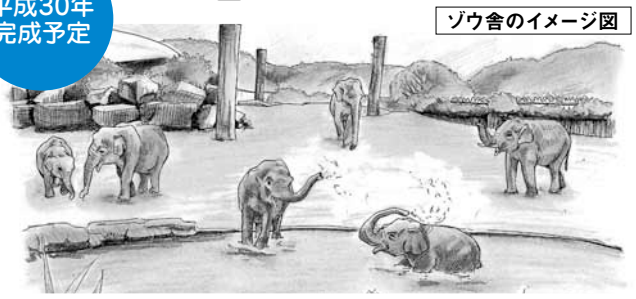
今後オープンする新たな施設にも注目！

平成29年春ごろ完成予定　新ホッキョクグマ・アザラシ館



平成15年以降、ホッキョクグマ8頭の自然繁殖に成功している経験を生かし、より繁殖に適した施設へと生まれ変わります。館内の水中トンネルでは、ホッキョクグマが頭上に飛び込んでくる大迫力のシーンを見ることができます。

平成30年完成予定　ゾウ舎



作成：札幌市立大学デザイン学部 斉藤雅也研究室

平成19年にアジアゾウの「花子」が死んで以降、新たにゾウを飼うべきかどうか調査を実施。種の保存に取り組むとともに、地球環境を守る大切さを伝えるため、昨年12月に導入を決めました。ミャンマーからアジアゾウ4頭の来園を予定しており、広いゾウ舎を整備します。

次のページからは、冬も魅力あふれる動物園を私と一緒に巡ってみよう！